

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 大

上場会社名 ヒビノ株式会社

コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) ヒビノGMC経営企画本部長

(氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,802	39.4	335	—	304	—	174	—
24年3月期第1四半期	2,727	△21.0	△146	—	△173	—	△126	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 189百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △128百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	35.41	—
24年3月期第1四半期	△25.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,596	4,007	29.5
24年3月期	13,370	3,903	29.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,007百万円 24年3月期 3,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	12.1	250	29.7	200	50.0	50	50.3	10.12
通期	14,500	2.7	500	△3.0	400	△7.1	100	—	20.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	5,547,840 株	24年3月期	5,547,840 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	627,598 株	24年3月期	606,098 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,935,298 株	24年3月期1Q	4,982,344 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に企業収益や設備投資が緩やかな回復基調で推移しておりますが、欧州政府債務危機等に起因する金融資本市場の変動や海外経済の下振れ懸念に加え、電力供給の制約、デフレの影響等のリスクが依然として存在しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社6社)は、引き続き経費削減を徹底するとともに、グループシナジーの訴求、新規市場へのアプローチに取り組みました。また、グローバル展開強化の一環として、中国イベント市場の中長期的な成長を見据え、現地の需要に柔軟に対応するため、平成24年4月より当社連結子会社Hibino Asia Pacific (Shanghai) Limited (ヒビノ アジア パシフィック (シャンハイ) リミテッド)においてコンサート・イベント事業を開始いたしました。

当第1四半期連結累計期間は、震災による設備投資マインド低下やイベント中止等の影響を受けた前年同四半期から経営環境が大幅に改善したことにより、すべての事業において業績が向上いたしました。とりわけ、コンサート・イベント事業がコンサート案件を中心に好調に推移したほか、音響機器販売事業において大型案件の売上が集中したこと等により、前年同四半期と比べ大幅な増収増益となりました。

これらの結果、売上高3,802百万円(前年同四半期比39.4%増)、営業利益335百万円(前年同四半期は営業損失146百万円)、経常利益304百万円(前年同四半期は経常損失173百万円)、四半期純利益174百万円(前年同四半期は四半期純損失126百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[音響機器販売事業]

音響機器販売事業は、震災後に低下した消費マインドが持ち直し、放送局をはじめ大型ライブハウスやコンサート音響会社等の複数の大型案件売上が当第1四半期に集中したことから、前年同四半期と比べ大幅な増収となりました。市況が回復基調にあるなか、展示会への出展やセミナーの開催など、全国各地で積極的な販売促進活動を展開することで需要喚起に取り組みました。また、当社連結子会社ヒビノインターサウンド株式会社は、ポータブルヘッドホンアンプ(ポータブルプレイヤー等の音楽再生機器からの信号を増幅させ、音質を向上させる機器)市場で不動の地位を築いたiBasso Audioと共同で、比類ない高音質を追求したポータブルタイプのリファレンス・ミュージックプレイヤーの開発を進め、次代の新市場の創出を目指し、商品の認知、理解、ブランドロイヤリティの向上に努めました。

これらの結果、音響機器販売事業の売上高は1,504百万円(前年同四半期比52.9%増)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、市場環境が一進一退で推移するなか、安価な海外製品の流入による競争激化もあり、予断を許さない状況が続いております。市場の変化や多様化する顧客ニーズに対応すべく、高付加価値かつ価格競争力を備えた製品開発に注力いたしました。

これらの結果、映像製品の開発・製造・販売事業の売上高は174百万円(前年同四半期比74.8%増)となりました。

[コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、引き続き活況を呈しているコンサート市場を背景に、ドーム、アリーナ等の大型コンサートツアーを多数獲得し、コンサート音響及びコンサート映像が好調に推移いたしました。例年は夏場にピークを迎えることの多いコンサートツアーが、年度初めより活発に動き出し、早くもフル稼働状態となったことや、一案件当たりの受注規模が拡大したことが、業績の上積みにつながりました。さらに、震災の影響でイベントの中止が相次いだ前年同四半期と比べ、企業イベントやコンベンション、医学関連学会案件等の売上也拡大いたしました。また、4月よりコンサート・イベント事業を開始したHibino Asia Pacific (Shanghai) Limited (ヒビノ アジア パシフィック (シャンハイ) リミテッド)においては、北京モーターショーの映像演出を受注し順調な滑り出しを見せました。損益面においても、利益率の高いコンサートをはじめとした大型案件売上の伸長が、利益拡大に貢献いたしました。

これらの結果、コンサート・イベント事業の売上高は2,123百万円(前年同四半期比29.2%増)となりました。

[その他の事業]

その他の事業の売上高は、ありませんでした。(前年同四半期は売上高は、ありませんでした。)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は13,596百万円となり、前連結会計年度末と比べて226百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

負債合計は9,589百万円となり、前連結会計年度末と比べて122百万円増加しました。これは短期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は4,007百万円となり、前連結会計年度末と比べて103百万円増加しました。これは利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想については、当第1四半期における業績が計画を上回って推移しておりますが、平成24年5月14日に「平成24年3月期 決算短信」にて公表しました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,844,348	1,494,221
受取手形及び売掛金	2,838,431	3,464,395
商品及び製品	1,673,512	1,579,831
仕掛品	329,936	71,147
原材料及び貯蔵品	428,199	426,571
その他	599,262	881,990
貸倒引当金	△30,854	△38,492
流動資産合計	7,682,836	7,879,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,239,491	1,244,064
減価償却累計額	△736,342	△747,648
建物及び構築物(純額)	503,149	496,416
機械装置及び運搬具	6,253,695	6,276,693
減価償却累計額	△4,811,758	△4,838,522
機械装置及び運搬具(純額)	1,441,937	1,438,171
工具、器具及び備品	796,158	795,514
減価償却累計額	△586,346	△593,644
工具、器具及び備品(純額)	209,811	201,870
リース資産	2,013,815	2,377,827
減価償却累計額	△1,016,820	△1,108,820
リース資産(純額)	996,994	1,269,007
その他	685,187	554,726
有形固定資産合計	3,837,079	3,960,191
無形固定資産		
のれん	40,267	29,575
その他	74,764	70,704
無形固定資産合計	115,031	100,279
投資その他の資産		
その他	1,940,841	1,870,455
貸倒引当金	△205,769	△214,037
投資その他の資産合計	1,735,072	1,656,418
固定資産合計	5,687,183	5,716,889
資産合計	13,370,020	13,596,554

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797,181	626,564
短期借入金	1,694,296	2,190,012
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,271,324	1,162,364
リース債務	336,003	374,717
未払法人税等	85,913	60,557
賞与引当金	288,305	171,083
その他	1,102,513	972,487
流動負債合計	5,585,536	5,567,786
固定負債		
長期借入金	2,224,568	2,126,117
リース債務	789,466	1,015,209
退職給付引当金	792,541	805,579
資産除去債務	13,536	13,573
その他	61,031	61,031
固定負債合計	3,881,144	4,021,511
負債合計	9,466,680	9,589,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,721,487	1,721,487
資本剰余金	2,074,601	2,074,601
利益剰余金	608,196	708,835
自己株式	△366,848	△378,184
株主資本合計	4,037,437	4,126,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,152	4,711
繰延ヘッジ損益	△1,866	△780
為替換算調整勘定	△138,384	△123,415
その他の包括利益累計額合計	△134,097	△119,483
純資産合計	3,903,339	4,007,256
負債純資産合計	13,370,020	13,596,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,727,695	3,802,441
売上原価	1,790,678	2,423,659
売上総利益	937,017	1,378,781
販売費及び一般管理費	1,083,304	1,043,483
営業利益又は営業損失(△)	△146,286	335,298
営業外収益		
受取利息	325	212
受取配当金	1,392	1,003
為替差益	7,041	3,426
その他	5,621	10,376
営業外収益合計	14,381	15,019
営業外費用		
支払利息	32,255	28,207
持分法による投資損失	6,467	12,379
その他	2,849	5,431
営業外費用合計	41,572	46,018
経常利益又は経常損失(△)	△173,477	304,299
特別利益		
固定資産売却益	1,711	7
特別利益合計	1,711	7
特別損失		
固定資産売却損	391	1,878
固定資産除却損	2,237	3,017
ゴルフ会員権評価損	11,174	—
その他	1,390	—
特別損失合計	15,193	4,896
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△186,959	299,411
法人税等	△58,527	124,646
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△128,431	174,764
少数株主損失(△)	△1,854	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,576	174,764

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△128,431	174,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	555	△1,208
繰延ヘッジ損益	△743	1,085
為替換算調整勘定	427	14,969
持分法適用会社に対する持分相当額	62	△232
その他の包括利益合計	302	14,614
四半期包括利益	△128,129	189,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,095	189,378
少数株主に係る四半期包括利益	△1,033	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。